

KADERU (かでる)

KADERU

INFORMATION FROM YUSHINKAI
AOMORISHINTOSHI HOSPITAL

2021年8月号

Vol.17



【尻屋崎】

撮影 麻酔科 石田亨一

Contents

- 病院総合医という仕事 佐々木 洋太 医師
- 脳の病気 No.2 「脳梗塞」 <梅森 勉医師>
- 第7回 放射線治療のおはなし <唐澤 久美子教授>
- 教えて!末綱先生~!! No.3 「骨粗鬆症」
<末綱 太 副院長>
- トピックス
- ・熱中症 ・スタッフコール訓練、消防訓練報告



もしかして 脳卒中?! ~こんな症状があれば様子見ではなく、すぐに119番へ!~

F ace(フェイス)
顔の歪みや
顔の麻痺

A rm(アーム)
腕や足に
力が入らない

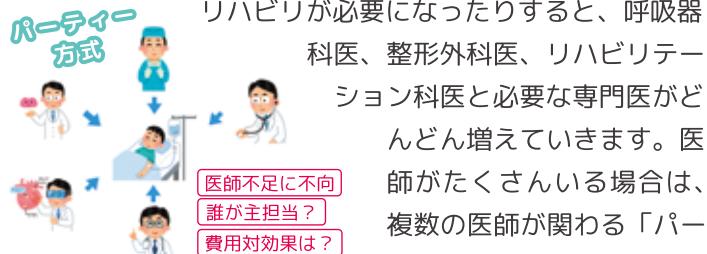
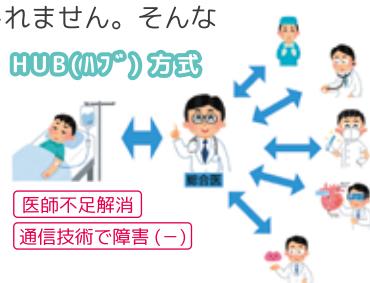
S peech(スピーチ)
言葉が出ない
ろれつが回らない

T ime(タイム)
症状に気付いたら
至急119番!

Time is Brain (時は脳なり) …脳梗塞の治療では発症より血行再開までの時間短縮が重要です!!

『病院総合医といふ仕事』 先生のご専門は何科ですか？

4月から勤務しています「病院総合医」の佐々木光太です。「総合診療科・病院総合医」は聞き慣れない分野だと思います。高齢者や複数の疾患を抱える患者さんが増えている中で、診療科を絞れない患者さんや複数の診療科の検査や治療が同時に必要な患者さんが増えています。また、頭痛外来、糖尿病外来、腰痛外来など各診療科でも細分化する傾向があり、同じ診療科を何回も受診する患者さんもいるかもしれません。そんな多重疾患・専門分野の狭間に悩まれる患者さんのために、一箇所で済ませられる総合案内役、HUB(ハブ)として総合診療科は存在します。



ティー方式」が理想かもしれません。しかし、東京や一部の大都市を除く日本中で「医師不足」で「パーティー方式」は“絵に描いた餅”です。また、それぞれの診療科で分担するとかえって費用や時間が増えて、「費用対効果」を損なうこともあります。複数の医師が関わる場合に最終的な責任がぼやけて「院内たらい回し」といった問題も日本中あちこちで生じています。病院総合医は一人で多くの分野を担い、各専門医と連携することで「HUB 方式の医療」を提供します。患者さんの最終的な診療を担い、各診療科との連携を管理・調整し、患者さんには「わかりやすい医療」を、専門医には「負担軽減」を提供出来る診療科です。「単なる振り分け役」や「何も出来ない落ちこぼれ」ではありません。

当科はまだ私しかおりませんが、当院にとっても、青森にとっても、病院総合医は必要になっていく診療科だと自負しています。各病院で総合医の役割や実力がバラバラで、不信感をお持ちの方も少なくないと思いますが、まだまだ発展途上の領域ですので、温かい目で見守っていただければ幸いです。今後も総合診療科をどうぞよろしくお願い申し上げます。

総合診療科 佐々木光太



脳の病気 No.2【脳梗塞（のうこうそく）】

前号の Vol.16 では、「脳梗塞について」「原因」についてご説明しました。今回は診断と治療についてご説明します。

診 断



MRI装置 3.0 テスラ
(MRAもこの装置で同時に撮影)

脳梗塞は早急に治療を開始するために、迅速な検査・診断が必要です。CT や MRI を用いて梗塞や出血の有無を確認し、頭部の血管の様子を MRA（磁気共鳴血管造影）で調べます。必要に応じて、脳の血流の分布を画像で示す脳血流検査や、カテーテルを挿入し造影剤を入れて検査する脳血管造影検査も行います。他に、心臓の検査（心房細動の有無を調べる心電図検査、血栓がないかを調べる心臓超音波検査）、さらに、脳梗塞のリスク要因を確かめるための血液検査も必要です。



治 療



超急性期リハビリテーション

脳梗塞の治療は、一刻も早く始める必要があります。症状が出た直後から4.5時間以内であれば血栓溶解薬（TPA）が投与できます。これは詰まった血栓を溶かす薬で、血流再開により症状の改善が期待できます。必要に応じてカテーテルを用いて血栓を取り除く血管内治療も有効です。その他、脳を保護する脳保護薬や、脳のむくみを抑制する抗脳浮腫薬などを併用します。麻痺や言語障害に対しては、早期にリハビリテーションも行います。再発予防のために、頸動脈内膜剥離術（CEA）や頸動脈ステント留置術（CAS）などの外科手術を行うケースもあります。

次号は「未破裂脳動脈瘤」についてご説明します。

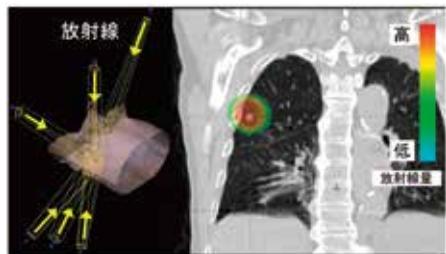


放射線治療のお話し

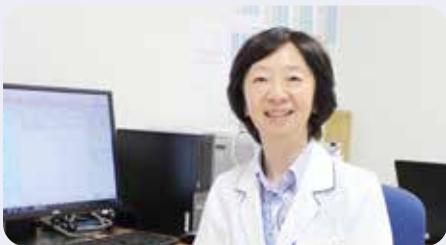
「肺がんに対する放射線治療から転移への治療まで」

肺がんの治療では手術が最も一般的だと思われます。しかし、肺や心臓の機能低下、高齢、病状が進行しているなどで手術をお勧めできない場合の方が実は多いのです。抗がん剤、分子標的薬剤、免疫チェックポイント阻害剤などの薬物療法も進歩して病状を抑えることができるようにになってきていますが、少なからず副作用が問題になります。

放射線治療の肺がんに対する役割は広く、早期がんをピンポイントで完治させること、切除不能の局所進行がんを抗がん剤との併用で完治させること、進行がんの脳や骨の転移へ対応する方法で、効果が高く有害事象が少ない5グレイという通常分割照射で、多方向から集中して放射線を当院で最も多く行っているのは早期がんに対する定位放射線療法、いわゆる「ピンポイント照射」です。これは、5セントチ以下のがん病巣に対して多方向から集中して放射線を照射します。一般的な治療期間は4日間で、1回10.5グレイという分割照射で10回、計30グレイ程度を照射して痛みを緩和する方法です。この治療は、効果が高く有効事象が少ない場合に適応があります。



右肺の転移性肺がんに対する定位放射線治療（ピンポイント照射） 図1



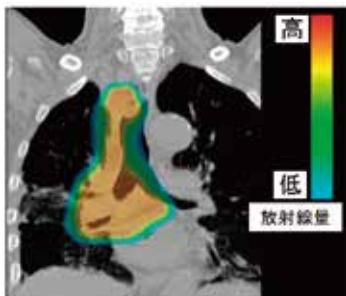
唐澤久美子 先生

東京女子医科大学 放射線腫瘍学講座 教授・講座主任
青森新都市病院 高精度放射線治療センター長

専門医：放射線治療専門医、がん治療認定医、
乳癌学会乳腺専門医
専門分野：がん放射線療法（特に乳癌など）、粒子線治療

の転移に對しても行うことができます。がんが胸部のリンパ節に転移している病状や術後の再発では、肺のがん病巣とリンパ節を含めて1回2グレイで30回、計60グレイ程度を照射します。

骨の転移で痛みが強い場合には3グレイ、10回、計30グレイ程度を照射して痛みを軽減することができます。



III期肺がん（縦隔リンパ節への転移あり）に対する放射線治療 図2

No.3

骨粗鬆症

骨粗鬆症の「鬆」とは、大根やごぼうなどの芯にできる隙間のこと、「粗」という意味があります。これが骨の中で起こっているのが骨粗鬆症です。今回は、「骨粗鬆症」についてお話しします。

1. 骨粗鬆症とは？

骨粗鬆症とは、WHO（世界保健機構）で、低い骨量（骨の量が減る）と骨組織の微細構造の異常（中がスカスカになる）を特徴として、骨の脆弱性（もろくて弱いこと、骨強度の低下）が増し、骨折の危険性が増大する疾患と定義されています。現在、約1300万人の患者さまがいます（女性980万人、男性300万人）。誤解されている人も多いのですが、骨密度が高くて骨質が劣化すると骨折します。

教えて！末綱先生～!!



2. 骨粗鬆症の原因と骨折？

女性ホルモンの欠乏（閉経）や加齢、運動不足、喫煙、飲酒などの生活習慣病からくる場合やカルシウムやビタミンD不足、リウマチ等の疾患などが原因となります。これらは骨吸収の促進や骨形成の低下、骨質の劣化をきたし骨強度の低下を招きます。骨粗鬆症になると骨粗鬆症性骨折（主に脊椎圧迫骨折と大腿骨近位部骨折）を起こしやすくなります。

3. 検査法・治療法

診断は、骨評価としてDEXAという方法を用いて、腰椎と大腿骨近位部の両者で測定することが望ましいです。骨密度が70%以下の場合はすぐに治療が必要です。自分の両親に骨折の既往がある場合も治療が必要になることがあります。予防と治療の根幹は「運動習慣」「正しい食習慣」「太陽を浴びる」そして「治療薬」です。

人生100年時代を迎えた今、幸せな百寿を迎るために目標は高く、骨の「8080（80歳でも骨密度80%）」を目指し、積極的に検診、治療しましょう。大切なことは、自分の力で動けることです。



副院長／脊椎脊髄センター長
末綱 太（すえつな ふとし）先生

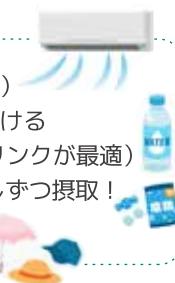
青森新都市病院 トピックス

熱中症について

7月に入ってから30度を超える真夏日が続いています。皆さんは日々、熱中症予防を意識して生活していますか？65歳以上の高齢者や乳幼児、屋外で働く方などは熱中症を発症しやすいので特に注意しなければなりません。

熱中症にならないために

- 適宜マスクを外す（屋外で人と2m離れてる時など）
- 日陰やクーラーの効いた室内などを利用し暑さを避ける
- こまめな水分・塩分補給（経口補水液やスポーツドリンクが最適）
※涼しい屋内にいて喉が乾いていなくてもこまめに少しづつ摂取！
- 屋外に出る時は涼しい服装、日傘や帽子を着用



状態によって対処が変わります！

レベル1 涼しい場所へ移動し、足高で寝かせて首の左右、脇の下、足の付け根などを冷やし、水分・塩分補給をしましょう。

レベル2 レベル1の応急処置をしても症状が改善しない、自力で水分補給できない場合は、医療機関へ受診しましょう。

レベル3 **すぐに救急車を呼んでください。**
※救急車を待つ間も応急処置を続けてください。



このような症状があれば熱中症を疑いましょう

- レベル1 めまい、手足のシビレ、こむら返り、汗がとまらない等
- レベル2 頭痛、吐き気・嘔吐、倦怠感、意識もうろう等
- レベル3 意識がない、けいれん、体が熱い、まっすぐ歩けない等

スタッフコール訓練

6月25日に、抜き打ちでスタッフコール訓練を行いました。訓練の結果、いくつか反省点がありましたが、今後有事の際は反省を活かし、的確に対応できるよう職員一同研鑽を積んでまいります。

※スタッフコールとは… 院内の緊急事態発生時に担当部署関係なく手の空いている医師や看護師を呼び出す為に用いる館内放送。



消防訓練

7月16日に消防訓練を行いました。

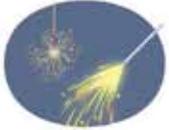
火災発見時の通報から放送、患者さまの避難誘導など役割を分担し基本事項を確認しながら行いました。

初期消火訓練では水消火器をお借りして、擬似消火も行い、4階から救助袋での避難脱出も体験しました。今後も職員一同、常に防災意識を持ち、火災や事故が発生しないように日々の点検をしっかりと行なっていきたいと思います。



編集後記

今年もねぶた祭りが中止になり、夏祭りがないのは寂しいかぎりです。そんな今年は家族で花火をすることにしていました。少しでも夏らしいことをしたく、子供と楽しみたいと思います。また、ステイホームで出来ることもだいぶやりつくしてきましたが、運動をして夏バテしないようにしたいと思います！そのためには睡眠と食事に気をつけたいと思っています。(T・S)



予約受付中

マンモサンデー 2021

当院は「J.M.S プログラム 2021 賛同医療機関」です。

日々、子育てや介護、仕事などで多忙な平日を過ごす方のために当院では10月の第3日曜日（10月17日）に乳がん検診を行います。詳しくはホームページの方はお問い合わせください。